

事務事業実績測定調書

R4調書番号 648

事務事業名称	水道管路維持管理業務										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	上水道保全課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間		年度	～		年度まで
根拠法令等	枚方市水道事業給水条例・計量法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	水道を利用している市民			
	サブターゲット	水道を利用している事業者			
	ターゲットが抱える課題	水道管路の老朽化や地震等の災害発生の影響による管路破損に伴う断水や水濁りの影響を受ける。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	適切な水道管路の維持管理が行われ、安心・安全な水道水が安定供給されている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 水道管路の維持補修。(平日夜間・土曜・休日の宿日直(簡易修繕含む)業務を委託) 赤水・出水不良の解消及び消火用水確保のための配水管等の改良工事の実施。 水道管路の水圧及び水質確保のための調査、排水作業。 消火栓の機能点検。 水道メーターの検定満期等による取替業務委託。 水道メーターに係る出入庫等の管理業務委託。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			水道管路が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明		総配水量に対する有効水量の割合 【算出式:有効水量/総配水量×100】				漏水修繕箇所			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		100	95	95	95	50	50	50	50
	実績		100	95	95		50	50	50	
達成度			100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	22.91
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	160,059	158,261	178,973		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	160,059	158,261	178,973		
物件費計	33,548	85,595	101,198	107,369	94.3%	
歳出計	423,444	243,856	280,171			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	6,168	5,131	5,037	6,820	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	6,168	5,131	5,037	6,820	
一般財源（物件費に充当されるもの）	257,217	80,464	96,161	100,549		

5. 総括的分析

総括的分析	繁忙期や漏水発生の重複時には効果的な業務運営を実施した。
-------	------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、直営と委託の併用で水道管路の維持補修を行う。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 649

事務事業名称	漏水調査事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	上水道保全課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		26.安全で良好な生活環境が確保されたまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2008(H20)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	軌道横断管路等の漏水事故が発生した場合に、交通網の遮断や二次災害、断水等の影響を受ける市民			
	サブターゲット	軌道横断管路等の漏水事故が発生した場合に、交通網の遮断や二次災害、断水等の影響を受ける事業者			
	ターゲットが抱える課題	交通網の遮断や二次災害、断水等の影響を受ける。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	定点監視型の漏水調査機で常時監視し、漏水が早期発見されることで、安心・安全な水道水が安定供給されているとともに、交通網の遮断や二次災害が無事に防止されている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 地下漏水が発生している箇所、他部署において舗装本復旧等工事を施工する事がない様、事前の漏水調査を実施し、漏水があれば工事施工前に修繕する。 軌道下横断管路では、漏水事故が発生すると二次災害の影響が大きいことから、定点監視型の漏水調査機器を設置して常時監視することで継続的な漏水調査を実施し漏水の早期発見に努めている。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			漏水が早期発見される。				定点監視型の漏水調査機で常時監視を行う。				
指標設定	指標説明		漏水調査で発見された漏水の修繕率 【算出式:修繕件数/漏水調査で発見された漏水件数×100】				漏水調査件数				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		100	100	100		50	50	50	50
		達成度		100%				100%			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			漏水があれば舗装本復旧工事施工前に修繕できる。				給水管、配水管等の漏水調査を行う。				
指標設定②	指標説明		漏水調査で発見された漏水の修繕率 【算出式:修繕件数/漏水調査で発見された漏水件数×100】				漏水調査件数				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		100	100	100		450	450	450	450
		達成度		100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.16
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,454	8,328	9,062		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,454	8,328	9,062		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計	8,779	8,328	9,062			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	325	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	2次災害の影響が大きい重要管路の漏水調査の拡充を図り、軌道下横断管路に加え、幹線道路横断管路についても順次漏水調査を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和5年度から枚方市水道施設維持保全計画(管路編)に基づき、重要管路の漏水調査を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 891

事務事業名称	上水道保全課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	上下水道部			課	上水道保全課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間		年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課の職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	所管事務の円滑な執行が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	所管事務が円滑に執行されている状態。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.93
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	22,726	22,440	15,077		
	会計年度任用職員	633	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	23,359	22,440	15,077		
物件費計	33,548	8,668	230,048	282,388	81.5%	
歳出計	56,582	31,108	245,125			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	2,674	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,674	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	29,549	8,668	230,048	282,388		

5. 総括的分析

総括的分析	引き続き、課の運営事務を執行した。
-------	-------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	課の運営事務の効率化を目指す。